

令和8年度 赤穂市立赤穂中学校経営構想

兵庫県教育基本理念
兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり
 「『絆』を深め『在りたい未来』を創造する力」の育成

「**生き抜く力**」を育む

- ・確かな学力の育成
- ・豊かな心の育成
- ・健やかな体の育成
- ・社会的自立への育成

赤穂市教育努力目標
“あすの赤穂”をになう
ころ豊かで自立する人づくり
 ～ 夢と志を育む教育をめざして ～

学校教育目標

志を持ち 夢の実現に挑戦する 自立する人づくり

＜校訓＞
**明けく
 浄く
 直く**

めざす生徒像

- (1) 公明正大で切磋琢磨して学習に真剣に取り組む生徒
- (2) 心や行いがきれいで、正しい行動ができる生徒
- (3) 素直で誠実な生徒

めざす教師像

- (1) 人権感覚を磨き一人ひとりを大切にする教職員
- (2) 生徒の自律と学力向上を願い、工夫と改善に努める教職員
- (3) 生徒に寄り添い成長や発達を常に温かく支える教職員
- (4) 生徒の意欲や可能性を伸ばし、自己有用感を高める教職員
- (5) 自分を磨き、高みを志向して怯まず自己変革できる教職員

- | | |
|-----------|--|
| 学級経営の重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 人権への知識と感覚の涵養を基盤に自己や他者の大切さを認め合い、生徒が安心して発言し学び、活動できる学校環境を作る。 2 「確かな学力」を育むための授業の工夫や改善に努め、小中連携の個別最適な学びを推進する。 3 特別支援教育の充実を図り、縦と横の連携による切れ目ない一貫した支援に努める。 4 互いに認め合う学級づくりを推進し、主体的に気づき・考え・実行する自立した生徒を育む。 5 生徒会活動を軸とし、感謝と思いやりの心を育み、支え合い高め合う集団づくりを推進する。 6 生徒に寄り添い生徒理解を深め、発達指示的市道で、関係機関と協力しながら成長を支える。 7 福祉活動、JRC 活動、地域活動の啓発や体験をとおして、地域に根ざした教育活動を推進する。 8 報告・連絡・相談を徹底し、学校危機管理の徹底と丁寧で迅速な対応する組織を確立する。 |
|-----------|--|

家庭とつながる

地域とつながる

☆具体的な取組

<p>◎ 確かな学力と学びの保障</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着 ・学習規律の定着 ・少人数、複数指導、T・T、個に応じた指導 ・適応課題や学習副教材の活用 ・補充学習時間の確保と個別指導の充実 ○自ら考える力の育成 ・支え合い教え合う、学び合いの場の創造 ・問題解決的な学習や探究活動の充実 ○指導方法の工夫改善 ・個別指導・少人数指導・全国学力学習状況調査の分析の活用 ・個別最適な学びと協働的な学びを充実させるツールとしてICT機器の活用 ・指導と評価の一体化を図った授業改善 	<p>◎ 心の教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育の充実 ・教育活動全体で道徳性の育成 ・道徳科の授業の充実・資料等の活用 ・授業公開「参観日」 ○生徒指導の充実 ・生徒指導担当を核とした複数体制指導 ・全職員での課題の共通理解 ・いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応、組織的な取り組み ・生徒に寄り添う発達指示的生徒指導 ・外部機関との連携 ○ころ豊かな体験活動 ・地域の体験を通したふるさと意識の醸成 ・体験活動の工夫と事前事後指導の充実 ○福祉教育の推進 ・施設や機関との連携、高齢者との交流 ○情操を育てる教育の充実 ・自然や文化・芸術体験 	<p>◎ 健康と安全を守る取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校危機管・衛生管理の徹底 ○健康管理・健康診断による保健指導 ○体力の向上をめざした活動 ○学校安全と危機管理体制の確立 ・安全点検の充実・危機管理マニュアル ○交通安全指導・交通立番 ○登下校の安全「交通ルール」の徹底 ○新たな防災教育と防災計画の推進 ・災害の種別や特性を踏まえた防災訓練 ・地域防災体制・研修会 ・命の尊さ・思いやりの心・共生の心 ○安全で安心な学校給食 ○地域の特産物を生かした食育の推進 ○学習環境の整備 ・施設設備の整備・安全・衛生 ○言語環境の改善・掲示物
<p>◎ 人権を大切にする学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権を大切にし対話を核にした授業づくり ・話す、聞くを大切に学習規律の確保 ・「高め合う 認め合う」全員参加の学級集団づくり ・授業、生活のユニバーサルデザイン化 ○心の通い合う仲間づくり ・自分の意見が言える学級づくり ・交流学級、別室、支援級などの居場所作り ・生徒会活動の異年齢活動 ・あいさつ等基本習慣の凡事徹底 ○人権教育の推進 ・人権課題の授業での取り扱い ・地域に学ぶ体験学習支援事業 ○情報モラル教育・多様性 	<p>◎ 家庭や関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣の確立 ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動 ○道徳性の形成 ○あいさつの励行 ○学校、担任、関係機関との連携 ・課題も善行も共有し成長を喜び合う関係 	<p>◎ 特別支援教育・児童支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導計画・個別の教育支援計画 ○教育相談・体験入学・見学・進路指導 ○校内委員会、生徒支援委員会の定期的な開催 情報共有 ○SC、SSW、専門機関、小中の連携 ○通級指導による個に応じた指導 ○ニーズに合った合理的配慮と進路指導
<p>◎ キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域の本物」と出会い、生き方を学ぶ体験 ○キャリアパスポートを活用した継続的な取組 ○特別活動を核としたキャリア形成 		

PDCAサイクル

- ◎ 組織としての学校運営**
- 使命感と高い倫理観
 - 心の通い合う学級経営・共感的な生徒理解
 - 子どもの学びに寄り添う授業研究
 - 学び合う教師集団・学級公開週間の実施
 - 資質向上・専門性を身に付ける研修
 - 全教職員で全児童にかかわる体制作り

部活動地域展開後に変更

- ◎ 子どもと向き合う時間の確保**
- 定時退勤日（水曜日）
 - ノー会議デー（火曜日）
 - OJTによる資質向上
 - 教育課程の工夫
 - メンタルヘルスの保持増進

評価と改善

- ◎ 共に築く開かれた学校づくり**
- 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の推進
 - 学校支援ボランティアによる教育支援
 - 地域関連行事への参加・スポ少活動の奨励
 - HP・メール・通信等による情報発信
 - オープンスクール等学校の特色の発信